

STM32L4 – SYSCFG

システムコンフィグレーションコントローラ

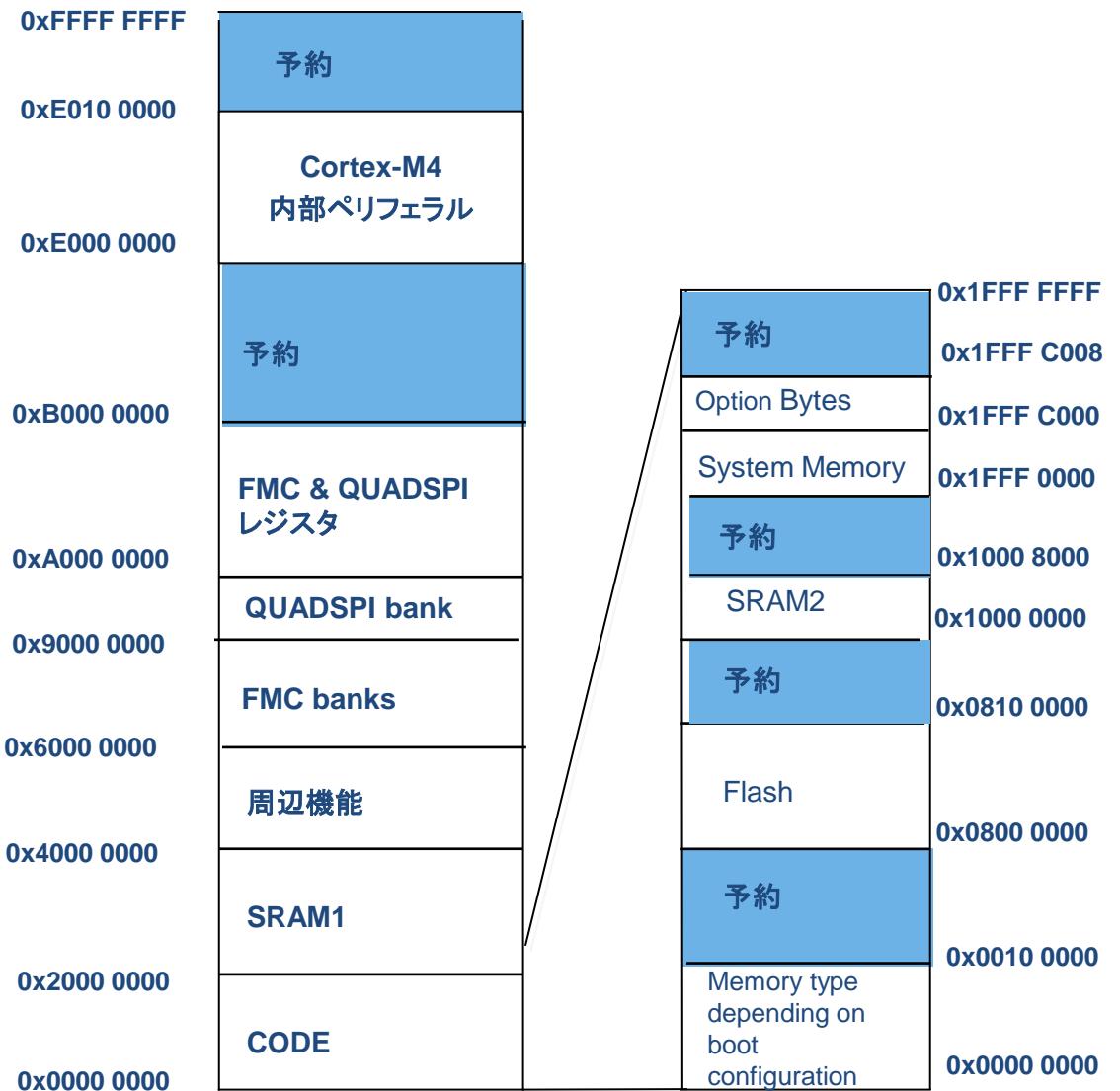
Revision 1



全てのSTM32L4デバイスは
“システムコンフィグレーションコントローラ”を備えています。

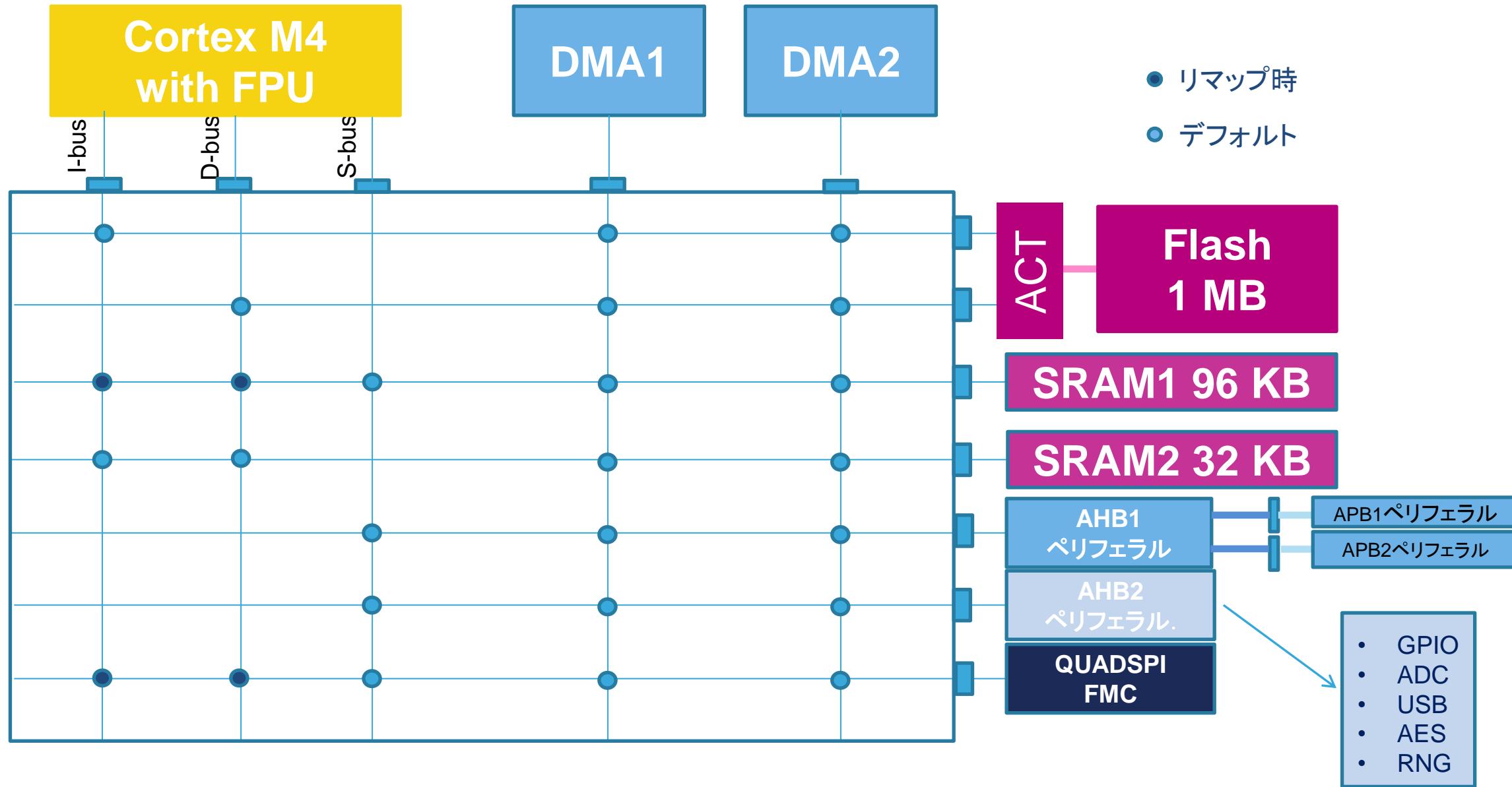
- メモリエリアのリマップ
- GPIO外部割込みの管理
- “連続運転”機能の管理
- SRAM2の保護機能
- FPU割り込み
- ファイアーウォールの有効
- I²C高速モード+の設定

- フラッシュメモリ: 最大1MB、デュアルバンク
 - SYSCFG_MEMRMPでFB_MODE = 0のとき:
 - Bank 1 @ 0x0800 0000 (かつ0x0000 0000)
 - Bank 2 @ 0x0808 0000
 - SYSCFG_MEMRMPでFB_MODE = 1のとき
 - Bank 2 @ 0x0800 0000 (かつ0x0000 0000)
 - Bank 1 @ 0x0808 0000
- SRAM: 128KBを2つにわける:
 - SRAM1: 96 Kバイト @ 2000 0000
 - SRAM2: 32 Kバイト @ 1000 0000
 - D-codeとI-codeを通じてのアクセス



パフォーマンス加速！

- アドレス 0x0000 0000 のリマップオプション
 - メイン Flash メモリ
 - システム Flash メモリ (Bootloader)
 - FMC バンク 1 (NOR/PSRAM モード)
 - SRAM1
 - QUADSPI
- システムバスの代わりにI-bus/D-busをアクセスすることによってパフォーマンスを改善する
- SYSCFG_MEMRMPのFB_MODE
 - Flash メモリのバンク 1 & 2 をスワップ



Bootモード選択		Bootモード
nBOOT1 (オプションビット)	BOOT0 (ピン)	
X	0	ユーザー Flash メモリ
1	1	システムメモリ (bootloader)
0	1	SRAM1

- Boot mode = ユーザー Flash メモリでオプションビット**BFB2 = 0**のとき
 - Flash メモリバンク 1からboot
- Boot mode = ユーザー Flash メモリでオプションビット**BFB2 = 1**のとき
 - Flash メモリバンク 2からboot(有効なとき)。有効でないときはバンク1から

プロトコル	I/Oおよびコメント	コメント
USART	USART1 ピン PA9/PA10 USART2 ピン PA2/PA3 USART3 ピン PC10/PC11	
USB	USB DFU interface ピン PA11/PA12	BootloaderはHSEがあるかどうか調べる: USBクロックをHSEに 無い場合、BootloaderはLSEがあるかどうか調べる: USB クロックはLSEで自動トリムされたMSI
CAN	CAN1 ピン PB8/PB9	
SPI	SPI1 ピン PA4/PA5/PA6/PA7 SPI2 ピン PB12/PB13/PB14/PB15	
I2C	I2C1 ピン PB6/PB7 I2C2 ピン PB10/PB11 I2C3 ピン PC0/PC1	I2Cスレーブアドレスは0x86

スタンバイでのパフォーマンス、整合性と安全性(クラスB、SIL)、リテンション

- 32 KBのSRAM2はD-busおよびI-bus経由でアクセスできる:
 - リマップ無しで、コード実行は最大のパフォーマンス
- HWパリティチェック: 1ワードにつき4bit
 - ユーザーオプションバイトでSRAM2_PEを有効にする
 - パリティエラー時にNMI生成
 - オプションでタイマをブレークできる
- オプションでスタンバイ時にリテンション(保持)可能

セキュア SRAM

- 書き込み保護 – 1KB単位
 - **SYSCFG_SWPR** は書き込み保護レジスタ
- 読み出し・書き込み保護 – RDPによる
 - RDPがレベル1から0になったときに消去
- ソフトウェアリセットまたはオプションでハードウェアリセット – システムリセット時
 - **SRAM2ER** ビットがセットされていると消去
 - ユーザーオプションバイトの**SRAM2_RST** のときにシステムリセットで消去

安全性と堅牢性

コンフィグレーションレジスタ2内の安全性と堅牢性機能

- SRAM2パリティエラーフラグ
- ECCロックはFlashのECCエラーをTIM1/8/15/16/17のブレーク入力に接続する
- PVDロック はPVD割り込みをTIM1/8/15/16/17ブレーク入力に接続する
- SRAM2パリティエラーをTIM1/8/15/16/17ブレーク入力に接続する
- CLLロックはCortex M4のHard Fault割り込みを TIM1/8/15/16/17ブレーク入力に接続する

=> アプリケーションがクラッシュしたときにアプリケーションが安全な状態になるように
タイマに入力する

SYSCFGその他の特徴

11

- GPIOx (x=A,...H) とつながる外部割込み (EXTI) の管理
 - PA[n] PB[n] PH[n] (n=0,...15) のEXTInを選択するための16 個のマルチプレクサ
- コンフィグレーションレジスタ1
 - FPU 割り込み有効
 - I2C GPIO Fast-mode Plus 20 mA ドライブ有効
 - PB6, PB7, PB8, PB9 ハイドライブはI2Cとして使われていないときでも有効にできる
 - 電圧ブースター対応の I/O アナログスイッチ
 - Firewall 有効

	Flash メモリからの実行			SRAMからの実行	
	ART ON I-Cache ON D-Cache ON Prefetch ON	ART ON I-Cache ON D-Cache ON Prefetch OFF	ART OFF	Code & Data in SRAM1	Code in SRAM2, Data in SRAM1
CoreMark / MHz @ 80 MHz	3.35	3.32	1.55	2.37	3.42

- このペリフェラルにリンクされているこれらのトレーニングモジュールを参照:
 - リセットおよびクロック制御 (RCC)
 - パワーコントローラ(PWR)
 - 割り込み (NVIC-EXTI)
 - Flash メモリ (Flash)
 - システムメモリ保護
 - タイマ (TIM)
 - I²C

- 詳細は以下を参考にしてください:

- AN2606: STM32 microcontroller system memory boot mode
- AN4435: Guidelines for obtaining UL/CSA/IEC 60335 Class B certification in any STM32 application